

## C 研究発表状況



# I 他誌論文抄録

## 結核菌の迅速な薬剤耐性能推定方法の検討

畠山 敬

公衆衛生情報みやぎ No.415 18-20 2012

従来の結核菌薬剤耐性試験は培養を基本とするため、検査時間の短縮が長年のテーマであった。そこで、本研究では短時間培養法と定量 PCR 法を併用することにより、結核菌の薬剤耐性能を迅速に推定する方法を開発するとともに、喀痰等臨床材料からの直接検出の可能性を検討した。

## 石巻地区における大気中多環芳香族炭化水素類調査

佐久間 隆 小泉 俊一 菱沼 早樹子 北村 洋子

全国環境研会誌 Vol.37 No.1 35-41 2012

石巻地区において大気中多環芳香族炭化水素類 (PAHs) の汚染実態調査を行った。環境調査の結果、総PAHs濃度は沿道で高い傾向が見られた。また、粒子状PAHsに比べガス状PAHsの割合が高く、特に2環のナフタレンが夏期に高濃度で検出された。固定発生源の排ガス中PAHs濃度測定においてもガス状PAHs濃度が粒子状PAHs濃度に比べ高かった。CMB法による発生源解析の結果、環境粉じん、粒子状PAHsでディーゼル排気ガスの影響が見られた。環境調査で高濃度に検出されたナフタレンはディーゼル排気ガスの影響が大きいと推察された。

## Ⅱ 学会発表等

○印 発表者

### 宮城県におけるヒトパレコウイルス (HPeV) の検出状況

- 阿部 美和 鈴木 優子 川端 淑子 植木 洋 上村 弘 佐藤 俊郎  
日本ウイルス学会 平成24年11月13～15日 大阪市

### 東日本大震災後の避難所サーベイランスについて

- 後藤 郁夫  
平成24年度宮城県・仙台市関係公所合同研修会 平成25年2月26日 仙台市

### カキからのノロウイルス濃縮・抽出法の検討

- 植木 洋 鈴木 優子 阿部 美和 川端 淑子 上村 弘<sup>\*1</sup> 佐藤 俊郎 野田 衛<sup>\*2</sup>  
(\*1 保健環境センター企画総務部 \*2 国立医薬品食品衛生研究所)  
平成24年度第2回業際研究会交流会 平成25年3月5日 仙台市

### 被災地における衛生研究所の役割

- 島山 敬  
第53回日本臨床ウイルス学会 平成24年6月16～17日 豊中市

### 飛行場周辺における航空機騒音の影響範囲の把握手法について

- 菊地 英男  
平成24年度全国環境研協議会騒音振動担当者会議 平成24年9月4日 千葉市

### 東日本大震災後に観測された塩竈市の非メタン炭化水素濃度上昇について

- 佐藤 直樹  
第38回全国環境研協議会北海道・東北支部研究連絡会議 平成24年10月25～26日 郡山市

## 編 集 委 員

川 名 幸 志 (委 員 長)    波 岡 陽 子 (水 環 境 部)

石 川    拓    (副 委 員 長)    今 井 よ し こ (企 画 総 務 部)

阿 部 美 和 (微 生 物 部)    菊 地 秀 夫 (企 画 総 務 部)

小 野 寺 由 貴 子 (生 活 化 学 部)    岡 本 留 美 子 (企 画 総 務 部)

佐 藤 郁 子 (大 気 環 境 部)

宮城県保健環境センター年報 第31号 (2013)  
(平成24年度)

---

平成25年12月

編集発行 宮城県保健環境センター

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/>

〒983-0832 仙台市宮城野区幸町四丁目7番2号  
電話 022-781-5591(代表)

---